

THINKWARETM DASH CAM

F50

ユーザーマニュアル



本ドライブレコーダー（ダッシュカム）は、自動車の使用中にビデオを連続して録画できる専用のオンボードデバイスです。

取り付け、運転条件、車種によっては、一部の機能をご利用いただけない場合があります。ビデオの質は取り付けられたファームウェアの結果として、それぞれの装置で異なる可能性があります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

目次

	THINKWAREドライブレコーダー™ F50をご使用の前に	2
	FCC宣言	2
	注意	3
01	はじめに	
	1-1. 構成部品	4
	1-2. オプションアクセサリ	4
	1-3. 製品概要	5
	1-4. メモリーカードの挿入	6
	1-5. 車両への設置	7
02	基本操作	
	2-1. デバイスの電源のオン/オフ	9
	2-2. 路上安全の警告 (オプションアクセサリ)	10
	2-3. 記録ファイル	11
	2-4. 運転中のビデオ録画	12
	2-5. パーキング中のビデオ録画 (オプションアクセサリ)	13
	2-6. 手動録画	14
	2-7. 音声の録音	14
	2-8. MicroSDカードのフォーマット	15
	2-9. ファームウェアのアップグレード	15
03	PCビューアソフトウェア	
	3-1. ThinkwareダッシュカムPCビューア	16
	3-2. PCビューア設定 > ダッシュカム設定	20
	3-3. PCビューアの設定	21
04	デバイス情報	
	4-1. 仕様	22

THINKWAREドライブレコーダー™ F50をご使用の前に

- ▶ 著作権法のもと、本ユーザーマニュアルの全部または一部を、THINKWAREの書面による同意なしに複製することはできません。
- ▶ 本ユーザーマニュアルの正確さを確保するため、最大限の努力が払われていますが、技術的な誤り、省略、または将来的な変更の可能性があることから、本ユーザーマニュアルの内容の正確さを保証するものではありません。
- ▶ THINKWAREは製品改良のため、予告なしに何時でも製品および本ユーザーマニュアルの内容を変更または修正する権利を留保します。
- ▶ 本ユーザーマニュアルで表示されている画像は、説明のみを目的とした図であり、実際の製品とは異なる場合があります。
- ▶ ユーザーは、本ユーザーマニュアルで規定された目的以外に、本製品を使用する権利を有しません。個人情報保護法などの関連法規に従い、本機によって録画または録音されたビデオや会話が、対象者の同意なしに流通した場合、本ユーザーまたは所有者は法的責任を負うものとします。したがって、本製品の使用の際、特別な注意を払う必要があります。

- MicroSDメモリーカードのエラーを定期的に点検し、またMicroSDメモリーカードは消耗品であるため、定期的に交換する必要があります。
- THINKWAREは、誤用や修正、純正品ではない部品およびアクセサリを使用することから発生する問題および/または損害には一切責任を老いません。
- 本機および録画されたビデオは、個人的な使用を目的としており、録画されたビデオは参考記録としてのみ使用されるものとします。
- ユーザー設定と事故の際の衝撃レベルの複合条件により、搭載の衝撃センサーが作動しない場合があるため、本機はすべての事故のビデオ録画を保証するものではありません。

FCC宣言

本機はFCC Part 15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従って行われます。(1) このデバイスが有害な干渉の原因となってはならず、(2) このデバイスは望ましくない動作の原因となる可能性のある干渉を含む受信したあらゆる干渉に耐えられなくてはなりません。

この装置は、FCC Part 15に準拠するClass Aデジタルデバイスの制限に従うことがテストにより確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対する合理的な保護を提供するために設計されています。この装置は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射することがあります。説明書の通りに設置または使用しない場合、無線通信への有害な干渉の原因となることがあります。ただし、特定の設置により干渉が発生しないことを保証するものではありません。この装置がラジオまたはテレビへの有害な干渉の原因となっているかどうかは、本装置のオン/オフを切り替えることで判断できます。ユーザーが以下のひとつまたは複数の手段を講じて干渉を補正することが推奨されます。

- ▶ 受信アンテナの向きを変えるか、または移動する。
- ▶ 本装置と受信機の距離を大きくする。
- ▶ 本装置を受信機が接続されている電気回路とは別系統の電気回路のコンセントに接続する。
- ▶ 販売業者または熟練したラジオ/TV技術者に相談する。

FCC警告: 本装置を法令順守の責任を負う当事者の明示的許可なく変更または改造した場合、当局による本装置の使用許可が無効になることがあります。

本装置はカナダICES-003に準拠するClass Aデジタル装置です。

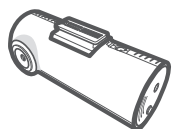
注意

- ◆ 車両のメーカーおよび車種によっては、エンジンが切れていても電力がドライブレコーダーに供給され続ける場合があります。連続的に電力が供給されている12Vのコンセントに本機を取り付けた場合、車両のバッテリー消耗につながる場合があります。
- ◆ 本機は自動車の運転中にビデオを記録するように設計されています。ビデオの画質は昼夜、街灯の有無、トンネルへの出入り、および外気温などの気象および道路条件に影響されることがあります。
- ◆ 録画されたビデオが操作中に失われた場合には、THINKWAREは一切責任を負いません。
- ◆ 車の衝突の衝撃に耐えるよう設計されていますが、衝撃が本機に損傷を与える可能性のある事故の記録を、THINKWAREは一切保証いたしません。
- ◆ 最適な画質を得るためフロントガラスとカメラレンズの汚れを落としてください。粒子や物質がカメラレンズやフロントガラスに付着していると録画された画像の質が悪くなる場合があります。
- ◆ 本製品の指定動作温度は14°F ~ 140°F (-10°C ~ 60°C)、保管温度は-4°F ~ 158°F (-20°C ~ 70°C)です。デバイスは必ずこの温度範囲内で維持してください。この温度範囲を超えると、デバイスは設計通りに作動しない可能性があり、また極端な高温や低温のもとでは保証の対象とならない恒久的な物理的損傷を引き起こす可能性があります。
- ◆ 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ◆ 本機が高温多湿にさらされる極限条件でのご使用は避けてください。
- ◆ アクセサリーはTHINKWAREまたはTHINKWARE認定ディーラーの純正品および周辺装置のみを使用してください。その他のメーカーの周辺装置を使用した場合の安全性および互換性をTHINKWAREは保証しません。THINKWAREが提供する純正部品を使用してください。
- ◆ 本機のボタンを押す際は、過度な力を加えないでください。
- ◆ 本機の汚れを落とす際は、化学洗剤や溶剤を使用しないでください。プラスチック部品に損傷を与える可能性があります。やわらかく、清潔な、乾燥している布で、製品を軽く拭いてください。
- ◆ お子様またはペットの手の届く場所に本機を設置または保管しないでください。
- ◆ 本機を分解しないでください。製品保証が無効になり、また本機が損傷する可能性もあります。
- ◆ お取り扱いにご注意ください。本機を落としたり、ショックを与えたり、取り扱いを誤ったりすると、本機の故障や損傷を招く可能性があります。
- ◆ 運転中に本機を操作しないでください。
- ◆ 本機は、妨げられることなく道を撮影でき、かつドライバーの視界を妨げない位置に取り付けてください。フロントガラスに取り付ける前に、法律や地方条例を確認してください。
- ◆ 本機またはインストール・アイテムには可動部品があり、舗装されていない道路のような極端な道路条件のもとでは移動する可能性があります。デバイスがこのガイドの通りの位置にあるか折に触れ確認してください。
- ◆ 濡れた手で電源ケーブルを操作したり、取り扱ったりしないでください。
- ◆ 損傷した電源ケーブルを使用しないでください。
- ◆ 電源ケーブルは、ヒーターや他の高温の物体から離してください。
- ◆ 正しいコネクタのついた電源ケーブルが使用されているか、しっかりと接続されているか、収まっているかを、確認してください。
- ◆ 電源ケーブルを過度な力で引っ張ったり、挿入したり、曲げたりしないでください。
- ◆ 本機と電源ケーブルの上には、重い物を置かないでください。
- ◆ 電源ケーブルを改造したり、切ったりしないでください。
- ◆ THINKWAREの認可を受けていない機械や周辺機器と、本機との互換性を、THINKWAREは保証しません。
- ◆ 本機または電源ケーブルに異物を入れようとしないでください。
- ◆ 故障、火災、感電の原因となりますので、本機に液体をかけたり、噴射したりしないでください。
- ◆ 本機は車内で使用することを目的としています。

1. はじめに

本ユニットは周辺装置のシールドケーブルを用いてテストされました。
シールドケーブルは、準拠を保証するために本ユニットと共に使用する必要があります。

1-1. 構成部品



メインダッシュカム
ユニット



3Mテープ付きマウント
(1個)



車載充電器



接着式ケーブルホルダー
(5個)



アダプター付きMicroSDメモリーカード
(消耗品)



クイックスタートガイド/保証書/
ユーザーマニュアル
(MicroSDカードに保存)

1-2. オプションアクセサリ

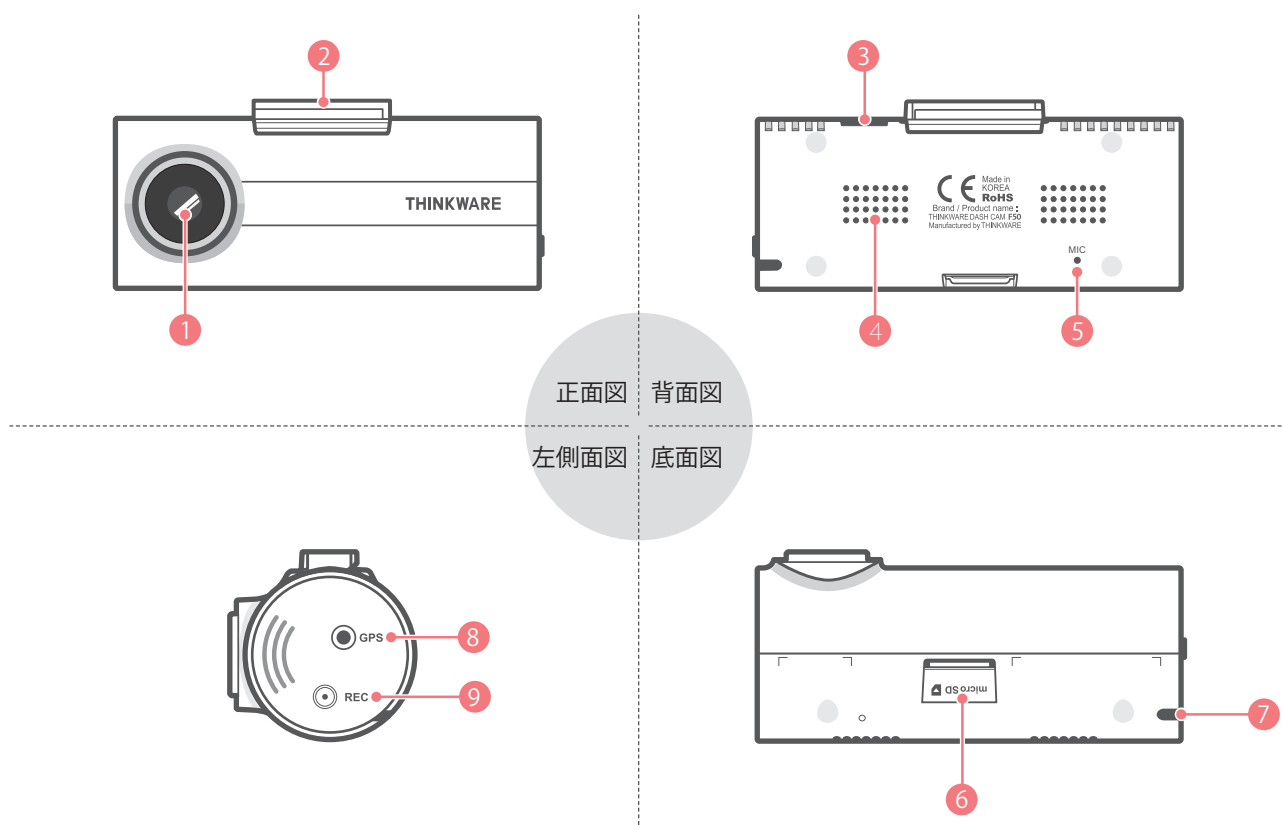


ハードワイヤケーブル



外部GPS受信機

1-3. 製品概要



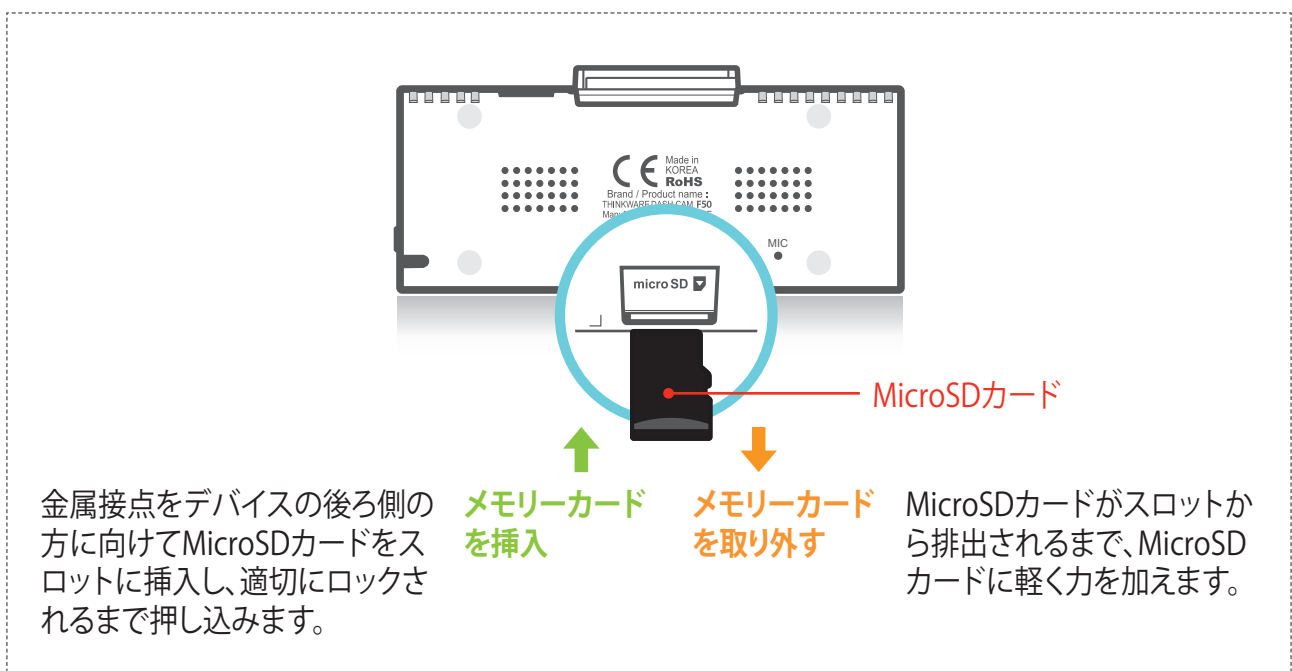
番号	名称	説明
1	カメラレンズ	ビデオ録画のためにカメラを正面に向ける。
2	マウントコネクタ	フロントガラスのマウントに接続する。(設置参照)
3	DC-INコネクタ	電源ケーブルを接続する端子
4	スピーカー	警告/通知音と音声ガイダンスを出力する。
5	マイク	音声を記録するためのマイク
6	メモリーカードスロット	付属のMicroSDメモリーカードを装着するスロット
7	操作ステータスLED	本機の実作状態を表示
8	外部のGPSアンテナ	外部のGPSアンテナに接続する。(オプションアクセサリ要)
9	録画ボタン	短押し: 手動録画を開始 3秒長押し: 録音ON/OFF 5秒長押し: メモリーカードのフォーマット

1-4. メモリーカードの挿入

1-4-1. メモリーカードについて

- ▶ MicroSDカードは、8GBクラス10以上の記憶容量のものをご使用ください。
UHS MicroSDカードは、16GB、32GB、または64GBの記憶容量のものをご使用ください。
- ▶ 本機は容量が8GBクラス10以上のMicroSDカードにのみ対応します。

1-4-2. MicroSDカードを挿入する



MicroSDカードに過度な力を加えたり、誤った方向に挿入したりしないでください。MicroSDカードやカードスロットに損傷を与える可能性があります。

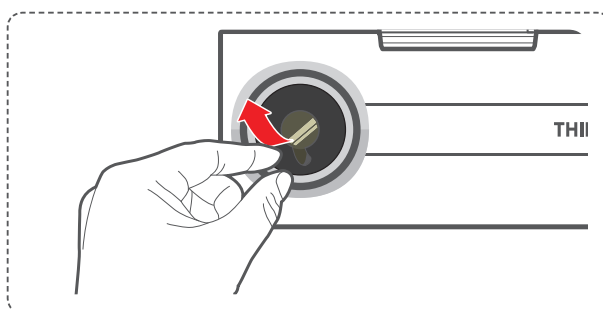
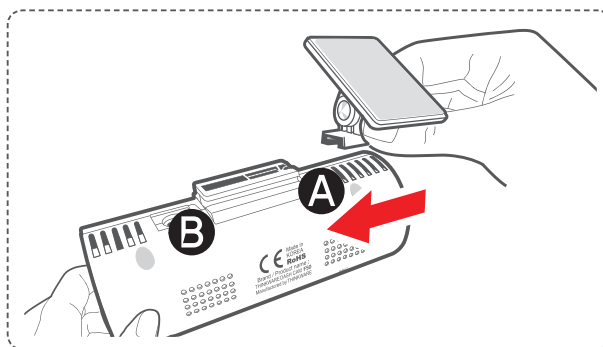
注意

- MicroSDカードは消耗品であり、定期的な交換が必要があるので、MicroSDカードは、定期的にエラーを点検してください。
- THINKWAREは、純正または正規の部品およびアクセサリを使用しないことから発生する問題および/または損害には一切責任を負いません。メモリーカードのエラーを最小限にするよう、THINKWAREメモリーカードをご使用になることを強く推奨します。
- メモリーカードの損傷を防止するために、MicroSDカードを取り外す前に、本機の電源が完全にオフになっていることを確認してください。
- 重要なデータの損失を防ぐために、MicroSDカードから録画されたビデオをパソコンなどの他の記憶デバイスに頻繁にコピーしてバックアップするようにしてください。

1-5. 車両への設置

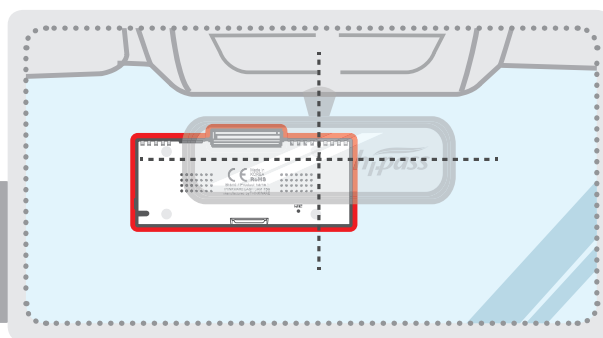
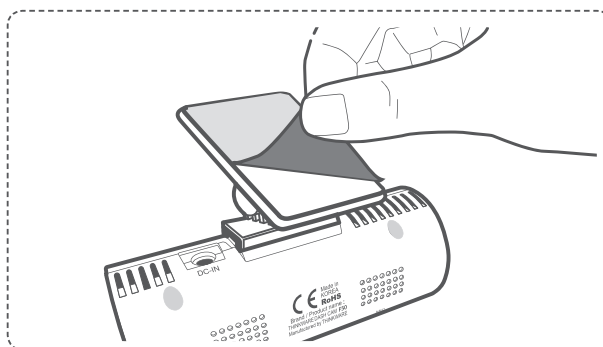
1-5-1. 本体とマウントの接続

- ① マウントをコネクタ (A) と平行にして、カチッという音がするまで (B) の方向に押し込みます。
- ② カメラレンズから保護フィルムを剥がします。



1-5-2. ドライブレコーダーの設置

- ① ドライブレコーダーを設置するフロントガラスを拭きます。
- ② ドライブレコーダーのメインユニットをマウントに着けたまま、マウントの裏面にある保護テープを剥がします。
- ③ マウント接着側を、妨げられることなく道を撮影でき、かつドライバーの視界を妨げない位置に取り付けます。

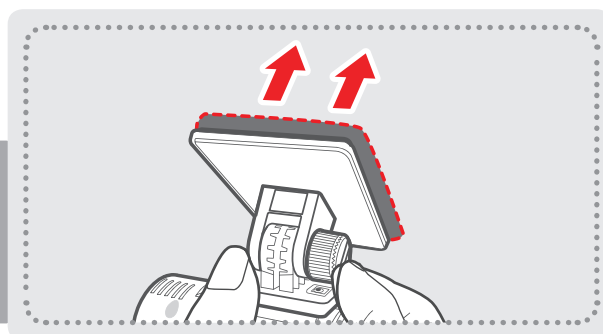


ヒント

カメラはメインユニットの右側についているので、ドライブレコーダーをバックミラーの後ろ側の中央右寄りに設置してください。

ヒント

取り付け具をしっかりと固定するため、設置後、本体をマウントから取り外し、マウントをフロントガラスに5分間押しつけてください。マウントの接着のためドライブレコーダーの接続は24時間後に行ってください。

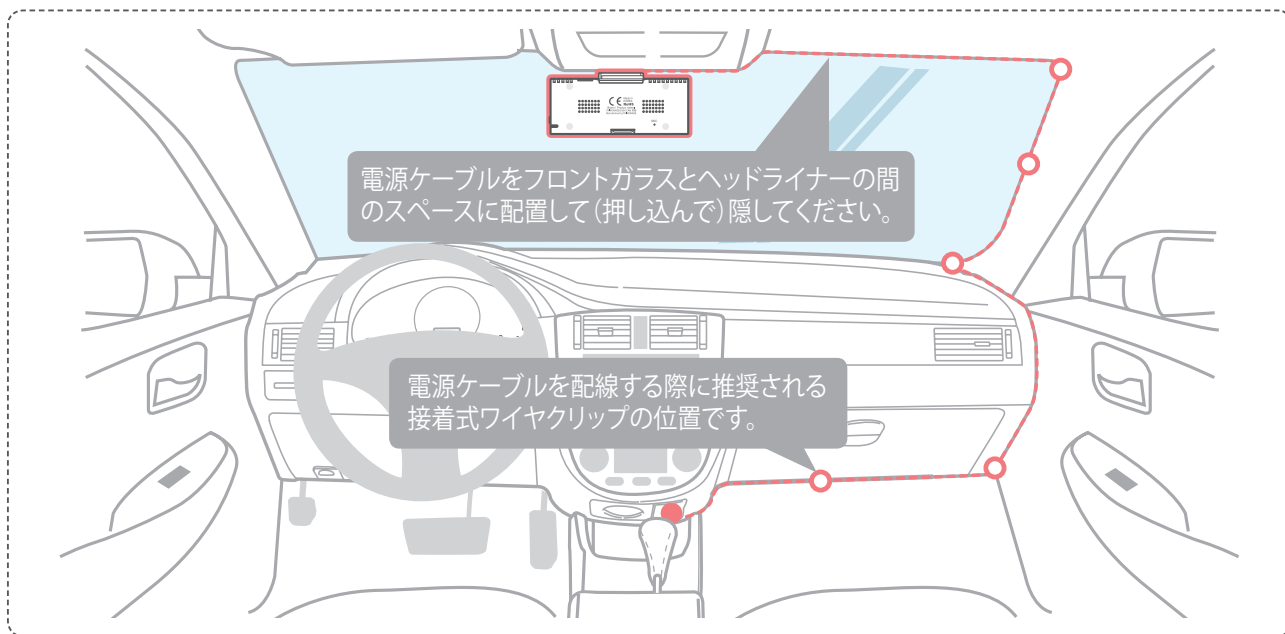
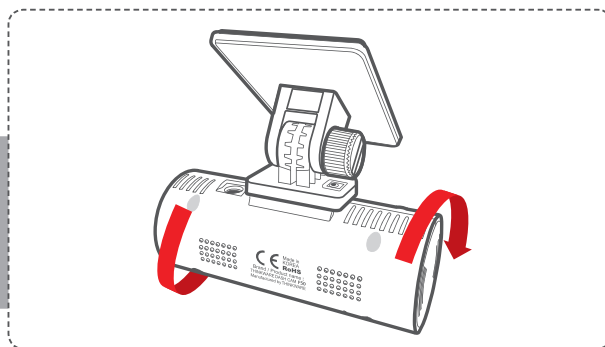
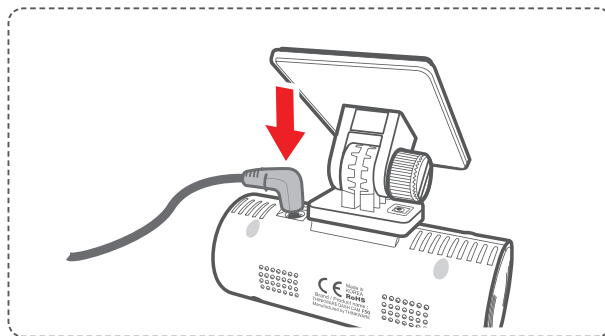


1-5-3. 電源に接続

- ① 電源ケーブルを本機のDC-INソケットに接続します。
- ② 電源ケーブルの車用充電器アダプタの端部を車両用DC12V電源ソケットに差し込みます。
- ③ 以下のように、接着式ケーブルホルダーを使用してワイヤーを配線します。
- ④ ドライブレコーダーが前方を向き、道路と水平になるように、カメラを調整してください。

ヒント

設置した後、ドライブレコーダーを起動してビデオを録画し、Thinkwareダッシュカムビューアでビデオを見て、カメラの位置を確認してください。必要に応じてカメラの角度を調整してください。



電源ケーブルの配線手順の詳細については、Thinkwareのウェブサイトをご覧ください。
(www.thinkware.com)

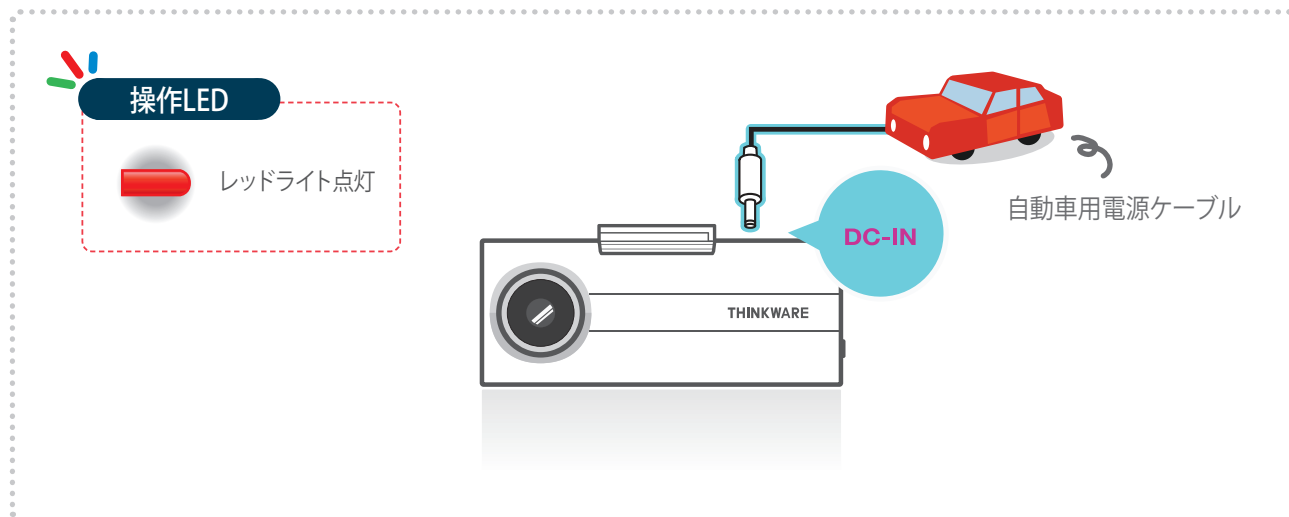
バッテリー上がりの予防

- 車両のメーカーおよび車種によっては、エンジンが切れていても電力がドライブレコーダーに供給される場合があります。その結果、自動車のバッテリーが上がってしまう可能性があります。
- 複数の電源ソケットがついている車両の一部には、エンジンと一緒に電源をオフにしないコンセントが少なくとも一つ装備されている場合があります。つなぐコンセントがエンジンと一緒にオフになるかを確かめるために、それぞれの電源コンセントをテストしてください。

2. 基本操作

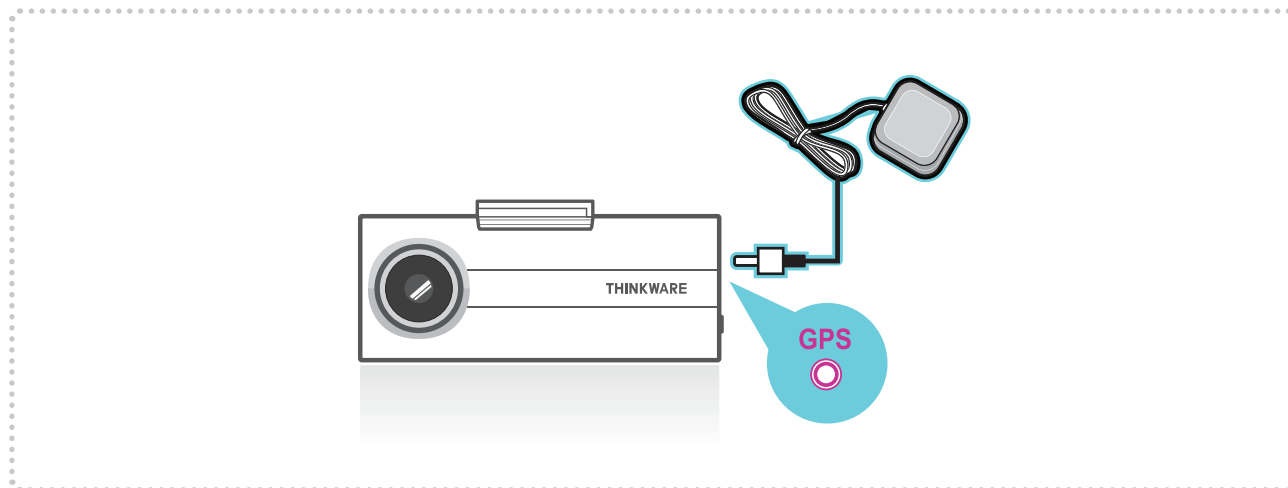
2-1. デバイスの電源のオン/オフ

▶ 自動車に接続すると、デバイスは自動車のイグニッションに合わせて自動的にオンまたはオフになります。



2-2. 路上安全の警告 (オプションアクセサリー)

- ▶ 路上安全の警告: カメラの安全警告はGPSとデータベースを活用しながら、赤信号カメラ、速度カメラ、平均速度カメラ、および移動式速度管理ゾーンなどの交通規制ゾーンに近づいた時に、ドライバーに警告します。
- └ 路上安全の警告の機能を有効にするには、[PCビューア] > [設定] > [ドライブレコーダー設定]と進みます。



注意

- 一部の国ではこの機能がご利用いただけない場合があります。
- GPSは、気象条件、衛星信号、または周囲の地理的特徴の影響を受ける可能性があります。
- コーティングされたフロントガラスはGPS信号を妨害する可能性があるため、GPS受信が不十分になったり、ブロックされたりすることにつながる可能性があります。
- 他の電子機器や装置をドライブレコーダーに近づけすぎると、GPS信号に干渉することがあります。

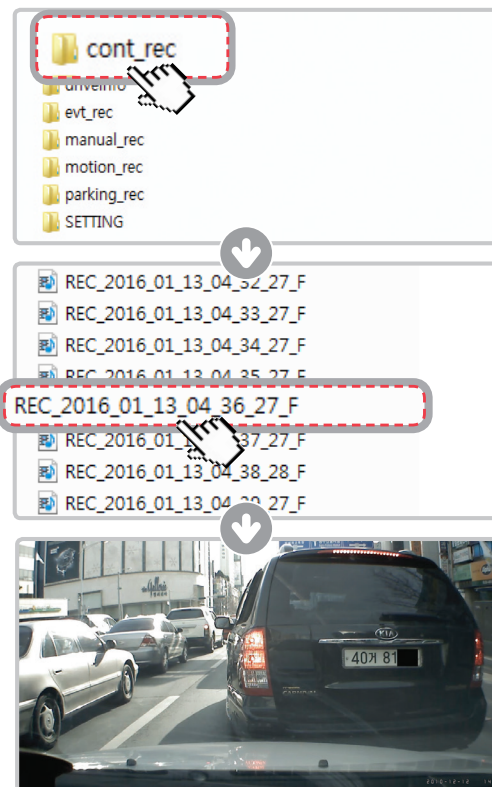
2-3. 記録ファイル

▶ 録画されたビデオのファイルは、MicroSDカードのフォルダーで日時ごとに保存されます。

└ ファイルは、ビデオが録画された時間で作成されます。



└ ドライブレコーダーはループ録画監視品であるため、メモリーが一杯になると、メモリーカード内の最も古いファイルから自動的に上書きされていきます。ただし、イベント録画と手動録画のビデオは別の場所に保存されるため、ファイルの上書きは行われません。



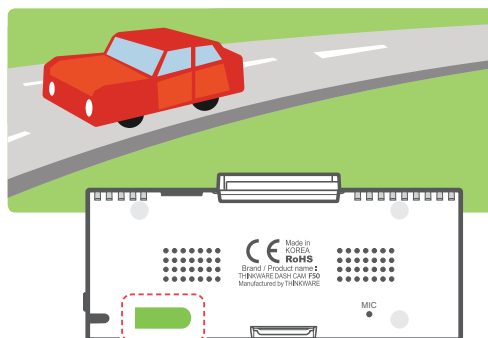
注意

- MicroSDカードを外部記憶装置として使用しないでください。
- MicroSDカード内のシステムファイルを改造しないでください。
改造すると、作動中に予期しない動きが発生する可能性があります。

2-4. 運転中のビデオ録画

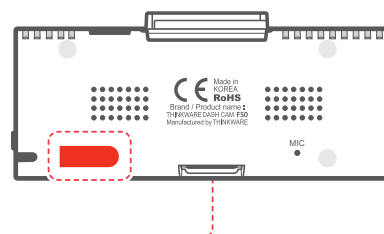
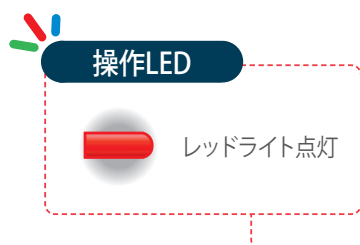
2-4-1. 常時録画モード

- ▶ ビデオは1分単位で録画され、MicroSDカードの「cont_rec」という名前のフォルダでファイルとして保存されます。



2-4-2. 常時録画モードでのインシデント録画

- ▶ ドライブレコーダーが衝撃を検出すると、衝撃の前後10秒間
が直ちに保存されます。
20秒間の衝撃の録画は、MicroSDカードの「evt_rec」フォル
ダに保存されます。
- ▶ 衝撃度がGセンサの感度よりも高い場合、ドライブレコーダ
ーは衝撃として検知するのみとなりますので、ご注意ください。
これらの度合は、ユーザー設定にてご変更可能です。



注意

- 速度防止帯、マンホール、またはでこぼこの道路を高速で走ると、衝撃として検知されてインシデント録画が始まる場合があります。
- 本機は、連続した衝撃または複数の衝突が発生した場合でも、最大1分のインシデント録画ができます。
- 衝撃映像の録画時間は、本機の設定によって異なる場合があります。

2-5. パーキング中のビデオ録画（オプションアクセサリー）

本機能は、ドライブレコーダーが車両のバッテリーに直接配線されている場合にのみご利用いただけます。配線ケーブルのアクセサリーの購入が別途必要となり、また専門家による取り付けが必要です。

2-5-1. パーキングモーション

- ▶ ドライブレコーダーはパーキング中に動きを検知すると、モーション検知が起動する直前の10秒間を直ちに保存し、次の10秒間のビデオの録画を開始します。

その後、20秒間のモーション検知録画は、MicroSDカードの「motion_rec」フォルダに保存されます。

注意

- 本機は、複数の衝突が発生した場合でも、連続した衝撃に対して最大1分録画できます。

2-5-2. パーキングモードでのインシデント録画

- ▶ ドライブレコーダーがパーキング中に衝撃を検出すると、衝撃の前後10秒間が直ちに保存されます。

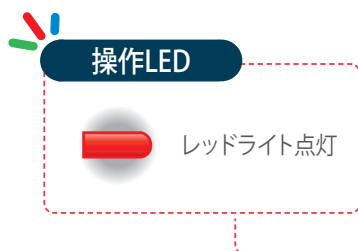
20秒間の衝撃の録画は、MicroSDカードの「parking_rec」フォルダに保存されます。



2-6. 手動録画

ドライブレコーダーでは、事故の録画に加えて、運転中に風景や場所を録画する手動録画モードを起動させることが可能です。ドライブレコーダーを装備された車両が事故に直接関与していない証拠としてビデオを保存する場合にも、この機能をご使用いただけます。手動録画モードで保存されたビデオのファイルは、メモリーカードの別の場所に保存され、常時録画モードのビデオの上書きは行われません。

- ▶ RECボタンを短く押して、録画を開始します。本機は、ボタンを押した時点で、1分間（前10秒間と後50秒間）、ビデオを録画します。記録されたビデオは、「manual_rec」フォルダに保存されます。



2-7. 音声の録音

- ▶ RECボタンを3秒以上長押しして、音声録音のON／OFFを切り替えてください。



2-8. MicroSDカードのフォーマット

▶ RECボタンを5秒長押しし、メモリーカードのフォーマットを始めます。

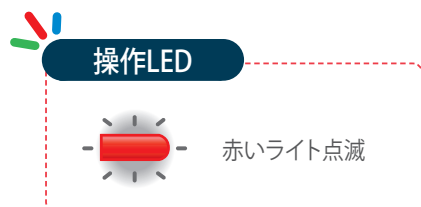
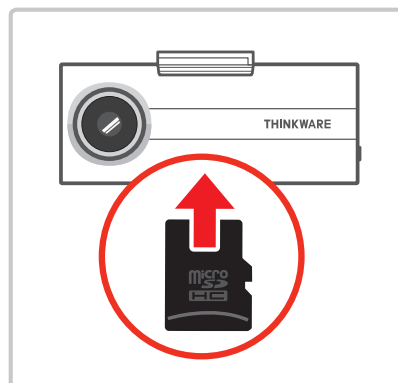


2-9. ファームウェアのアップグレード

▶ MicroSDカードにアップグレードしたファームウェアファイルが含まれていると、ドライブレコーダーは自動的にアップグレードされます。
 ↳ アップグレードが完了すると、本機は自動的に再び作動します。

▶ 本機が常に最新のファームウェアで更新されていることを確認してください。
 最新のファームウェアのアップデートについては、THINKWAREのウェブサイト (www.thinkware.com) にて随時ご確認ください。

▶ 本機のアップデート中に電源を切らないでください。電源を切るとダッシュカムの損傷を引き起こします。



3. PCビューアソフトウェア

3-1. ThinkwareダッシュカムPCビューア

Windows／MacOS用のThinkwareダッシュカムビューアでは、ダッシュカムで録画されたビデオを見ることができます。ダッシュカムで録画されたビデオのファイルは1分単位になっており、PCビューアではこれらの区切られたビデオを1つの連続したビデオとして見ることができます。

ThinkwareダッシュカムPCビューアのセットアップファイルは、パッケージ内のMicroSDカードに含まれています。最新のダッシュカムPCビューアのアプリケーションについては、THINKWAREのウェブサイト (www.thinkware.com) をご確認ください。

MicroSDカードをパソコンに挿入します。

3-1-1. Thinkwareダッシュカムビューアのインストール

Windows



① MicroSDカードに保存されているThinkwareダッシュカムビューアのセットアップファイルをダブルクリックして、プログラムのインストールを起動します。

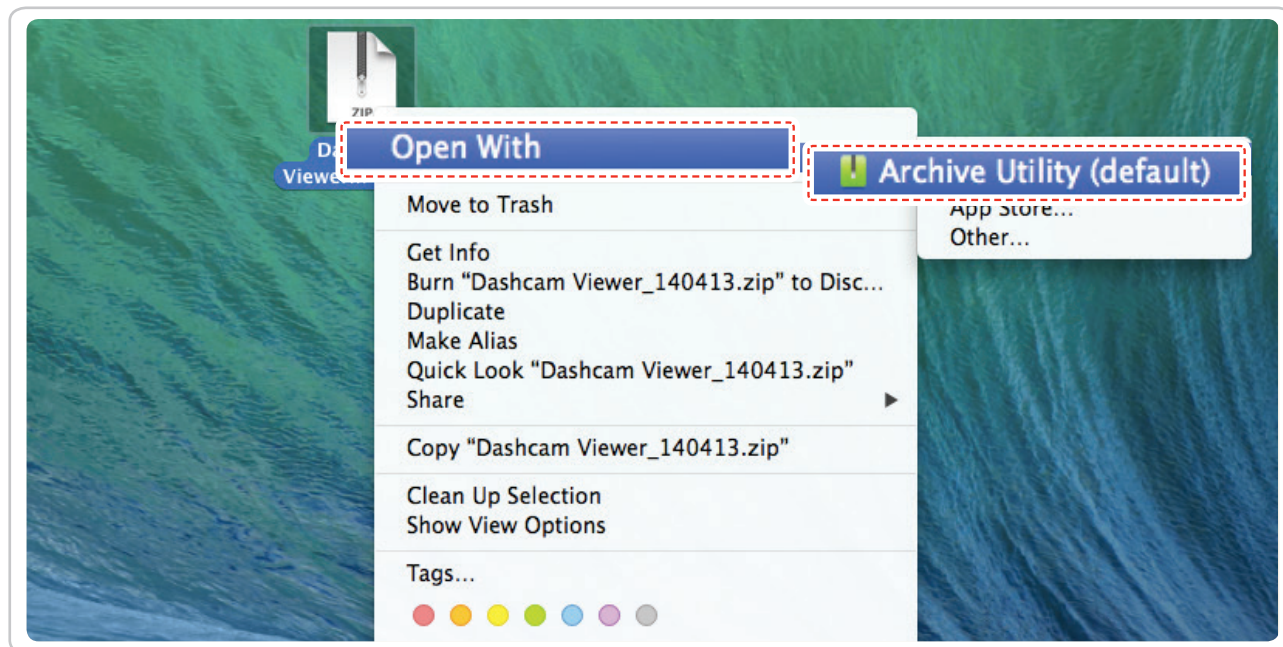
② PCビューアのインストールが完了したら、アプリケーションのアイコンをダブルクリックします。アプリケーションのメイン画面が表示されます。

注意

- システム要件：
Windows XP SP3 (32 bit)、
Windows 7 (32/64 bit)、Windows 8.x (32/64 bit)

MAC

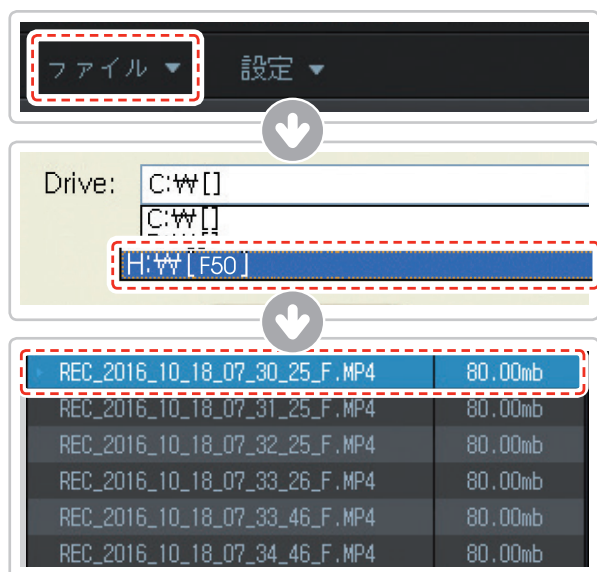
- ① MicroSDカードに保存されている「Dashcam Viewer.zip」という名前のファイルを、デスクトップに移動します。
- ② マウスを右クリックし、[このアプリケーションで開く] > [アーカイブユーティリティ]を選択して、Thinkwareダッシュカムビューアのアプリケーションを起動します。



注意

- システム要件: MAC OS X 10.8 Mountain Lion以降 (OS X 10.9 Mavericks, OS X 10.10 Yosemite)

3-1-2. F50のデバイスドライブの選択



- ① メニューで[ファイル]をクリックし、接続されているMicroSDカードのポータブルストレージドライブのドライブを選択します。
- ② リストからファイルを選択すると、メモリーカードのビデオの再生リスト全体が読み込まれます。

注意

- MicroSDカードはダッシュカムで使用されるまで、PCビューアに認識されません。
- ThinkwareダッシュカムPCビューアにアクセスする前に、ダッシュカムユニットを使用して、MicroSDカードに少なくとも1つのビデオを録画することをおすすめいたします。

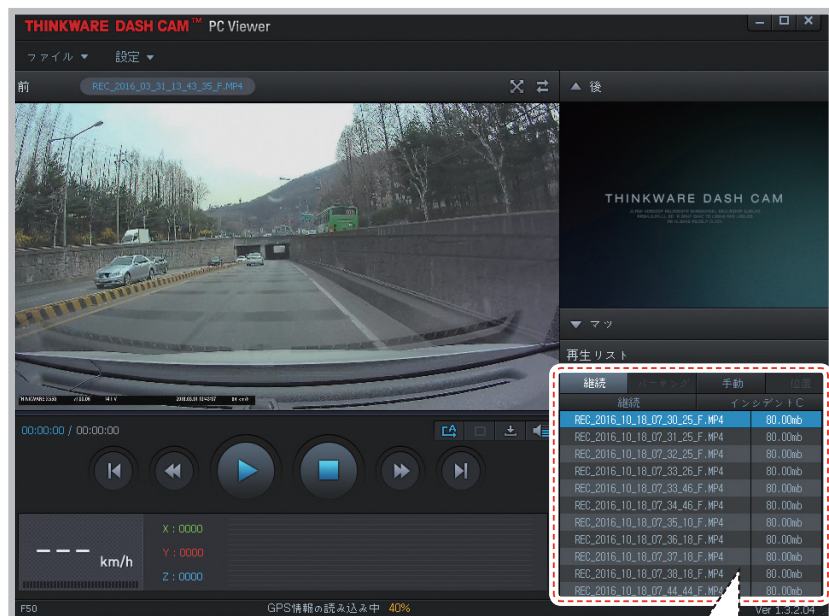
3-1-3. Thinkwareダッシュカムビューアの概要



番号	名称	説明
⏮	前の再生	現在のファイルの前のファイルを再生します
⏪	10秒巻き戻し	再生中の現在のファイルを10秒巻き戻します (選択すると、10秒まで巻き戻しを続けます)
▶/⏸	再生/一時停止	録画ファイル/一時停止したファイルを再生します
■	停止	再生中のファイルを停止します。ビデオの開始点に再生状態がリセットされます。
⏩	10秒早送り	再生中の現在のファイルを10秒早送りします (選択すると、10秒の早送りを続けます)
▶	次を再生	現在のファイルの次のファイルを再生します
🔄	自動再生	ビデオが終了すると自動的に最初に戻ってループします
📏	ズーム	ビデオの拡大率を設定します (0.5倍/1.0倍/1.5倍/2.0倍)
⚙	画面設定	ビデオの明るさ/スピードを設定します
💾	保存	再生中のビデオを保存します
🔊	音量	再生音量を設定します

3-1-4. ビデオ再生リストを見る

- ▶ 適切なフォルダ (常時録画、インシデント録画、手動録画、パーキングモーション、パーキングインシデント) を選択すると、各録画モードの再生リストが表示されます。



再生リスト

継続	パーキング	手動	位置
継続	インシデント C		
REC_2016_10_18_07_30_25_F.MP4		80.00mb	
REC_2016_10_18_07_31_25_F.MP4		80.00mb	
REC_2016_10_18_07_32_25_F.MP4		80.00mb	
REC_2016_10_18_07_33_26_F.MP4		80.00mb	
REC_2016_10_18_07_33_46_F.MP4		80.00mb	
REC_2016_10_18_07_34_46_F.MP4		80.00mb	
REC_2016_10_18_07_35_10_F.MP4		80.00mb	

常時録画再生リスト

再生リスト

継続	パーキング	手動	位置
ファイル名		ファイルサイズ	
MAN_2016_10_18_07_47_16_F.MP4		80.00mb	
MAN_2016_10_18_07_48_10_F.MP4		80.00mb	

手動録画再生リスト

3-2. PCビューア設定 > ダッシュカム設定

▶ メモリーカード設定

└ メモリーパーティション:

それぞれの録画モードでメモリーカードの保存領域を割り当てる方法を設定します(メモリーパーティションの設定を変更すると、メモリーカード全体がフォーマットされます)

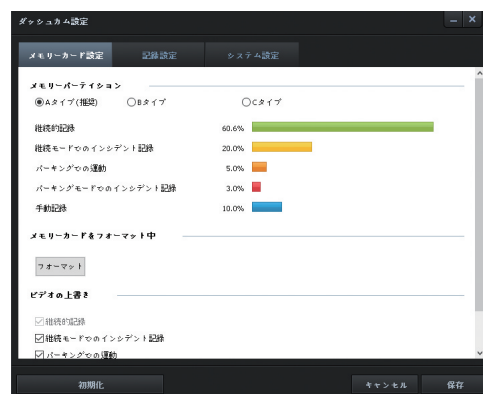
└ メモリーカードのフォーマット中:

MicroSDカードをフォーマットします。フォーマットすると、メモリーカードに保存されているすべてのビデオのファイルが完全に消去されます

※ メモリーカードをフォーマットする前にデータをバックアップしておくことを推奨します。メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータは削除され復元することはできません。MicroSDカードのフォーマット方法はコンピュータのオペレーティングシステムにより異なります。

└ ビデオの上書き:

それぞれのモードに保存された最も古いビデオが、新しいビデオのファイルで上書きされることを許可するオプションを設定します。



▶ 記録設定

└ 継続モードでのインパクト感度:

常時録画モードの時の衝撃感度を設定します。車種に応じて感度を設定することをおすすめします。高感度の設定は、高級セダンなどのソフトな乗り心地の車におすすめです。低感度の設定は、高性能車、トラック、またはSUVのようなサスペンションがより硬い傾向の車におすすめです。

└ 輝度:

前方カメラ／後方カメラのビデオの録画の明るさを設定します。

└ パーキングモード:

車両エンジンの点火状態を監視してエンジンが切られると自動的にパーキングモードに変更します。パーキングモードで使用するには、ドライブレコーダーが車両に配線されている必要があります。

└ パーキングモードでのインパクト感度:

パーキング録画モードの時の衝撃感度を設定します。

└ 運動検知:

パーキング録画モードの時のモーション検知感度を設定します。

└ 記録停止のタイマー設定:

車両のバッテリーを放電から保護するために、ドライブレコーダーをパーキングモードで自動的にシャットダウンするタイマーを設定します。

└ 記録停止のバッテリー電圧設定:

車両のバッテリーを放電から保護するために、ドライブレコーダーをパーキングモードで自動的にシャットダウンする電圧レベルを設定します。



4. デバイス情報

4-1. 仕様

本製品の仕様書は、製品の改良のために事前の予告なしに変更される場合があります。

項目	規格	備考
モデル	F50	
サイズ／重量	78 x 34 x 31.5mm / 42g 3.07 x 1.33 x 1.24" / 0.09lbs	
容量	MicroSDカード	8GB(class 10)、16GB、32GB、 64GB(UHS-I)
録画モード	常時録画モード	1分単位で録画
	インシデント録画モード	衝撃前後10秒(合計20秒)
	手動録画モード	前10秒および後50秒(合計1分)
	パーキング監視モード	車両のエンジンがオフになっている時に電源を連続的に供給するには、オプションの配線用ケーブルと取り付けが必要です。
	録音	
カメラ	2.12Mピクセル、1/5.78" CMOS	
撮影画角	約130°(対角)	
ビデオ	FHD (1920 x 1080) / H.264 / PCM MP4	
フレームレート	1チャンネル(フロントビュー)： 最大30 fps	
音声	PCM(パルスコードモジュレーション)	
加速度センサー	3軸加速度センサー(3D、±3G)	調整可能衝撃感度(5レベル)
GPS	外部GPS受信機	別途購入の必要なオプションアクセサリ
入力電源	DC 12/24V	
電力消費量	2.1W(以下)	
通知LED	LED 1個(2色)	
警告音	内蔵スピーカー	音声(ブザー音)ガイダンス
動作温度 / 保管温度	14°F ~ 140°F / -10°C ~ 60°C -4°F ~ 158°F / -20°C ~ 70°C	